

愛

妻というもつとも身近な赤の他人を

大切にすると、

世界はもう少し豊かで

平和になるかもしれないね。

妻

AISAI PROJECT BOOK

群馬県嬬恋村 × 日本愛妻家協会

〔 嬬恋村とは 〕 嬬恋村の村名の由来は、日本武尊が亡き妻弟橘姫を追慕するあまり「あづまはや（ああ我が妻よ）」と三度お嘆きになって、妻をいとしまれた故事にちなんで名付けられたとされます。北の草津温泉、南の軽井沢のほぼ中央に位置した村をたくさんの方々に触れていただこうと、行政、村民、外部クリエイターたちが一枚岩となり、この故事にちなんだブランドとして開発されたのが、嬬恋村を愛妻家の聖地とする「日本愛妻家協会」デザインです。

PROJECT

01

キャベツ畑の中心で妻に愛を叫ぶ

PROJECT

02

嬬恋村愛妻ブランド開発会議

PROJECT

03

妻との時間をつくる旅

PROJECT

04

その他の進行中プロジェクトご紹介

愛妻家の聖地化計画プロジェクト

〔 日本愛妻家協会とは 〕 日本愛妻家協会は、地球温暖化よりも家庭寒冷化現象の方を気にしてみました。愛妻家が増えるとこれまでの夫婦環境をむしばんでいた倦怠感は削減され家庭が少し温かくなる。すると世界は平和になるかもしれないと考えてみたのです。全国各地に希少生物化が進む日本の愛妻家を探し出し保護育成し、夫婦の温暖化を促進することで、少子高齢化に代表される人口減少時代を朗らかに過ごすライフスタイルが見えてくる。

キャベツ畑の中心で妻に愛を叫ぶ

12 *years*
(2017年11月現在)



日本全国チューマップ

6 2014 START!
 ごめんな祭「後免の中心で謝罪を叫ぶ」
 ごめチュー@高知県南国市
 毎年5月頃開催

8 2016 START!
「うどん県」の中心で愛を叫ぶ
うどんチュー@香川県高松市
毎年5月頃開催

4 2010 START!
「茶畑の中心で愛を叫ぶ」
チャバチュー@静岡県藤枝市
6月頃開催

9 2017 START!
「新宮の中心で愛を叫ぶ」
シンチュー@和歌山県新宮市
継続開催検討中

1 2006 START!
「キャベツ畑の中心で妻に愛を叫ぶ」
キャベチュー@群馬県嬬恋村
毎年9月開催

3 2009 START!
「夫婦の町の中で愛を叫ぶ」
めおチュー@三重県伊勢市
毎年11月頃開催

2 2008 START!
「日比谷公園の中心で妻に愛を叫ぶ」
ヒビチュー@日比谷公園
毎年1月頃開催

5 2014 START!
「東京湾の中心で愛を叫ぶ」
愛湾チュー@東京湾シンフォニークルーズ内
毎年11月頃開催

木の根つこの露天風呂に入つて
二人で流れ星を見たことがあるね
それから高原の湖で雨があがつて
きれいなエメラルドの七色の虹を
見たことがあるね
いつも二人は横に並んでそれを見ていた
けれど僕たちも年だやがて二人で
それを見ることができない日が必ず来る！
横を見ると僕がいない！
または君がいない！ そんな日が来る
もし僕が生き残つたら再婚したりはしないよ
僕は君との日々を思い出を胸に抱いて
ひそかに、ひそかに生きていきます
エミー愛してるよ

I want you

PROJECT 02

嬢恋村愛妻ブランド開発会議



48 idea

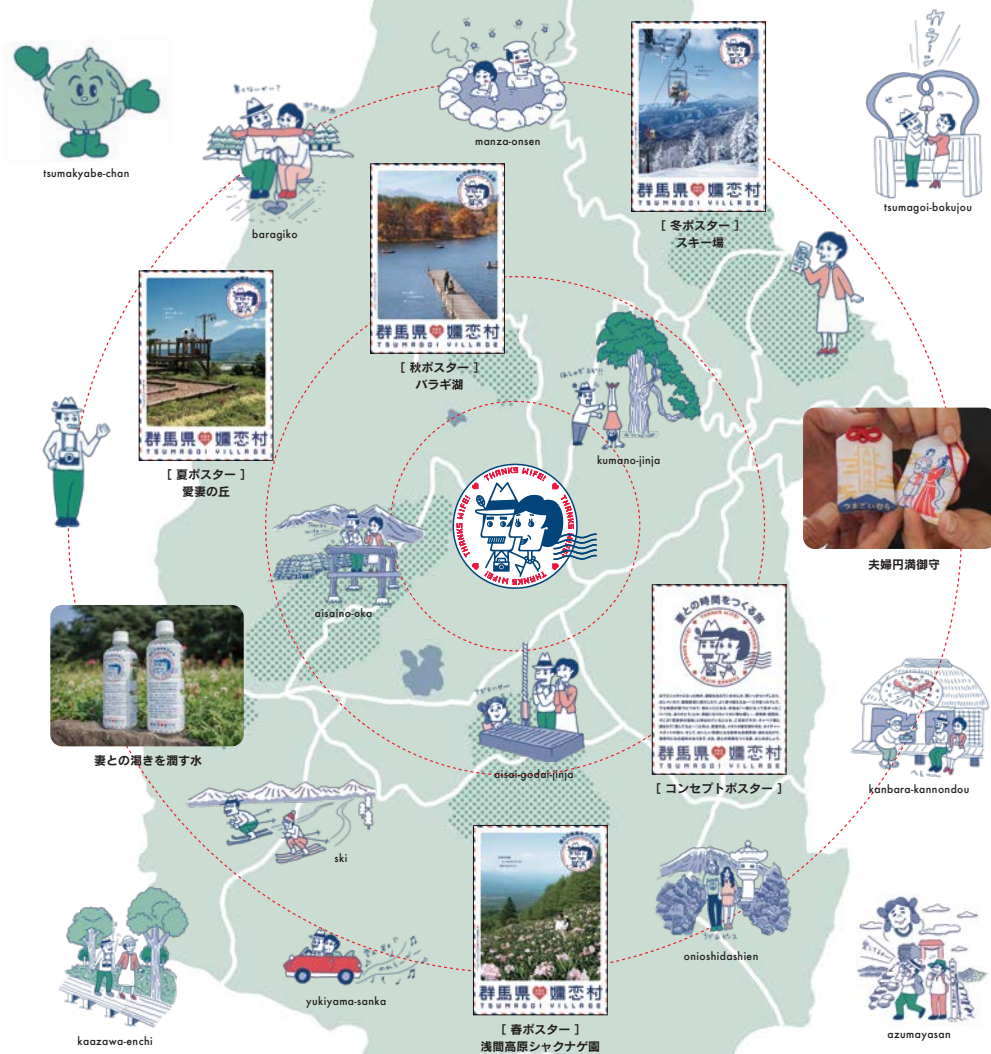
愛妻家の精神を継承し、「もっと人を想う」気持ちが醸し出されたユニークで愛着が生まれる商品やサービスをつくりだそう、というのが、このプロジェクトの発端。そこで2014年に「嬢恋村愛妻ブランド開発会議」発足。20数名の村民が集い、自らが考え、チームで討議し、アイデアをひねり48ものアイデアを誕生させました。その中から商品化へ向けて今現在、動いている商品もあります。嬢恋村のキャベツ酢を使用した愛妻伝説の地サイダー「愛妻ダー」。飲めば爽やか、夫婦円満間違いなし。そして2017年のキャベチューで、サケビストたちの全身全霊の叫びが注入された大麦を使用した「叫ばれビール」など、商品化へ向けて新しい試みに挑んでいます。



PROJECT
03

妻との時間をつくる旅

夫婦で孀恋村を旅してもらう観光プロモーション。この旅を通じてお互いに「感謝」したり「思いやったり」と、夫婦の愛を育んでもらうためのアイデアを、孀恋村というフィールドに落とし込みました。まずは、村内の妻思いのスポットを愛妻22（ふうふ）スポットとして認定。キャベツ畑に囲まれて「愛してるよ〜!」と叫ぶ、愛妻の丘をはじめ、メオトの愛を想わせるネイチャースポットの数々。訪れるだけで、妻孝行になる場所がたくさんあります。そして、愛妻スポットをメオトでのんびり巡る「妻との時間をつくる旅 スタンプウォーク」も開催中。スタンプを集めると村の伝説にちなんだオリジナルの「夫婦丹満御守」をプレゼント。さあ、妻との時間をつくる旅、はじめましょう。



PROJECT 04 その他の進行中プロジェクトご紹介



1 d design travel 「GUNMA」

2017年11月発売の「デザイン目録」を持った都道府県別観光ガイド、d design travel「群馬号」の表紙に、キャベチャー2016のキーデザインが群馬代表として堂々採用されました。書籍奥付では、編集長ナガオカケンメイさんから『「農業県」「かかあ天下」「働きもの」「都会のデザインを追わない」…見事なバランスでイラスト表現されていました。ちょっと田舎くさいところも、愛らしく群馬の印象にぴったりです。』とご評価いただいた次第です。

2 日経デザイン

d design travel に続き、日経デザイン2017年11月号の表紙にもキャベチャーの模様が採用されました。群馬県嬬恋村×日本愛妻家協会の取り組みを、見開き4ページにわたり「デ

ザインが地域を元気にする」という特集で取り上げられた次第。地方創生の先進的事例として、経済界もデザイン界も注目しています。

3 全国チューイベント

「キャベツ畑の中心で妻に愛を叫ぶ（通称キャベチャー）」にインスパイアされたイベントが全国各地に飛び火しています。複数年にわたって継続しているイベントも数多く存在しており、都市型イベントでは「日比谷公園の中心で妻に愛を叫ぶ（ヒビチュー）」が10年続いているほか、「東京湾の中心で愛を叫ぶ（通称愛湾チュー）」が4年、地方部では三重県伊勢で「夫婦の町の中で愛を叫ぶ（めおチュー）」が9年、福島県いわき市では「ハワイアンズの中で妻に愛を叫ぶ（通称ハワチュー）」が3年目を企画中など、単年で終わらず、定例化することで、

商業施設や地域を巻き込んで夫婦温暖化アクションを実装しています。

4 愛妻ダー

愛妻ブランド開発会議から生まれた第1号商品。「妻の手しごと」が手掛ける「キャベツ酢」とサイダーを組み合わせたご当地サイダー。「純粋なる想い」の白い愛妻ダー、「情熱なる想い」の赤い愛妻ダー、2017年12月販売開始予定。

5 タケルスターサークル

愛妻の丘の駐車場に、星空観察用のサークルを3箇所設置しました。名付けて「TAKERU STAR CIRCLE」。嬬恋村などを中心に天体観測を実施しているアマチュア天文家から、愛妻の丘が観測スポットとして適した条件を備えているため、望遠鏡設置スペースの整備が提案され、ここに実現しました。サークルのモチーフとなってい

るのが、日本武尊（ヤマトタケルノミコト）の髪型「みずら」。日本書紀に由来する愛妻家伝説の眠るこの村ならではのアイデアです。ロマンチックな星空を、ロマンチックな愛妻ストーリーとともにお届けしたい、愛妻家の聖地ならではの取り組みです。

6 叫ばれビール（仮称）

嬬恋村の地ビール製造メーカー「嬬恋高原ブルワリー（浅間高原麦酒）」とコラボする形で、2年間温めてきたアイデア「叫ばれビール（仮称）」開発プロジェクト。「日頃言えない妻への感謝や愛の叫びには、きっと素敵成分が含まれているに違いない。そんな男の勇気が降りかかった嬬恋村産大麦を原料とすれば、きっとピュアで力強いビールになる！」そんな思いが結実し、2017年夏、嬬恋産大麦に愛の注入が無事完了。製品化へ向け、挑戦がは

じまっています。

7 嬬恋高原キャベツマラソン

日本一ハードなロードレースを自称する「嬬恋高原キャベツマラソン」。ラスト2kmの激坂が評判を呼び全国各地から坂マニアが集まるこの大会。参加賞にキャベツ、会場ではキャベツ食べ放題、エイドでもキャベツ、大会グッズもキャベツ柄！まさにキャベツ尽くしのマラソンです。2017年から夫婦の部も新設されました。

8 妻との涙きを潤す水

嬬恋村の地下250メートルからくみ上げた天然水を使用したこの水は、飲料水メーカー「嬬恋銘水」さんの協力を得て、嬬恋村役場が商品化。ヤマトタケルノミコトが「嗚呼、妻が恋しい～」と叫び、嬬恋村が愛妻家の聖地として歴史を歩み始めて以来、約1800年かけて商品化した神秘の水です。

その他の連携プロジェクト

9 妻の手しごと

「この村を、カタチに」をコンセプトに嬬恋村に暮らす妻たちが、自然と愛情を紡いで、新しい村の魅力を届けます。第一弾商品として、嬬恋高原キャベツを原料に作った「キャベツ酢」をプレーンとパープルの2色で展開。搾汁したキャベツを、2カ月間じっくりと熟成させることにより、うまみ成分が生まれ、甘みも引き出しました。嬬恋村ならではの美味しさを、ぜひどうぞ。

10 嬬恋ハートきゃべつ畑プロジェクト

嬬恋村千俣地区のキャベツ農家の後継者グループ「BRASSICA（ブラシカ）」が嬬恋のキャベツのブランド力アップや消費者との交流を目的にして取り組んでいます。7月にキャベツをハート形に定植、9月の収穫イベントを企画しています。



日本愛妻家協会 事務局長（ファウンダー） 山名 清隆
愛妻の日を提唱する夫婦環境保全運動「日本愛妻家協会」をはじめ、ホメて首節高の事故を減らす「東京スマートドライバー計画」などユニークなソーシャルムーブメントを推進する稀代のクリエイター。



審議委員長 山名 貴美子
日本愛妻家協会の審議委員長、事務局長の妻として“放牧力で夫を育てる”という新しい視点で、講演会やトークを行うその名も放牧プロデューサー。



嬬恋村事務局 久保宗之（通称イワン）
群馬県嬬恋村観光商工課（愛妻課窓口担当）に属し、愛妻の丘周辺に居を構え、様々な夫婦の歴史に触れては涙する、人呼んで愛妻の丘の番人。



WEBマスター 松井 保
日本愛妻家協会設立当初から、抜群の安定感で協会関連WEBサービスを保守運用制作し続けるIT社長。愛妻家人生を歩むのか歩まないのかに注目が集まる。



主任調査員 小宮 隆太（通称サケビスト）
夫婦の危機的状況を一叫びで脱した経験を持つ、サケビマスター。全国各地に講演やセミナーで飛び歩いている、公私混同しながら夫婦についていよね、を伝え歩くエバンジェリスト。



調査員 西口 芳治（通称スイドル）
颯爽と叫び会場に現れては、サケビ指南役として心が張り裂けんばかりのシャウトを披露し、「脱ぎ叫び」の技を確立した伝道師。メディア露出も多数。



アートディレクター 洲崎 賢治（通称スーザン）
仕事で携わっていた嬬恋村と日本愛妻家協会のプロジェクトにみるみる惹かれ、類稀なる才能を如何なく発揮しまくるデザイナー。早く愛妻家になりたいっ！

AISAI PROJECT BOOK
群馬県孀恋村 × 日本愛妻家協会